

☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*2022. 8. 17\*\*☆

60 歳からの人生を準備する  
【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

## 老後の生活に向けた 4 つのお金の基本 (前編)

発行者：牧野 F P 事務所合同会社代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*☆\*\*\*通算第 509 号\*\*\*☆

### <目次>

- ◆ 今週のテーマ
- ◆ 今週のポイント
- ◆ 編集後記
- ◆ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

\*:\*

- ◆ 今週のテーマ

## 老後の生活に向けた 4 つのお金の基本 (前編)

\*:\*

今週と来週の 2 回に渡り、  
老後の生活に向けたお金の基本について、  
4 つお話いたします。

今回はそのうちの 2 つ、  
金融商品と保険商品の基本についてです。

お話しすることには  
このコラムや私のところに相談にみえる方に  
常々お話ししている内容も含まれています。

なぜなら、何度も確認いただきたい、  
老後のお金と向き合うために、

極めて重要かつ基本的な事柄だからです。

---

## 1つ目 金融商品の基本

---

現在、市中には様々な特徴を持った、  
金融商品が販売されています。

たとえば、銀行に一定の期間お金を預けておく、  
定期預貯金があります。

預けたお金は、  
自宅で、タンス預金をするのとは違い、  
盗難の被害にある心配がありません。

また、預けた銀行が破たんしても、  
預けたお金（元本）は、  
ペイオフの制度により、  
1金融機関、1預金者あたり、  
元本1,000万円までとその利息などが、  
保護されています。

しかし、現在の預金金利は低く、  
利息による収益は期待できない状況です。

つまり、収益（リターン）は、  
期待できないけど、  
元本割れの損失の危険も少ない、  
ローリスク・ローリターンの  
金融商品といえます。

他方、株式投資や投資信託といった  
元本保証がない金融商品もあります。

これらの商品で運用すれば、  
年単位の収益の割合である利回りが、  
3%とか5%とか、

高収益になることもあれば、  
市場の動向によっては、  
元本を割って損失がでることもあります。  
つまり、ハイリスク・ハイリターンの  
金融商品なのです。

未だかつて、  
ローリスク・ハイリターンの金融商品は、  
ありません。  
また、銀行の預貯金や個人向け国債といった、  
一部の金融商品を除いて、  
元本が保証されている金融商品もありません。

---

リスクとリターンには

---

金融商品を運用した成果としての  
リスクとリターンについてお話いたします。

まず、リターンとは、  
収益の儲けのことです。  
通常、リターンには所得税や住民税が、  
課せられています。

この課税の税制優遇がされている制度を利用して、  
運用するのが、

- ・ NISA（少額非課税制度）
  - ・ iDeco（個人型確定拠出年金）
- です（下記※1参照）。

また、リスクとは、  
危険なことだと思っている方もいるでしょう。  
金融の世界では「ブレ」のことを言います。

たとえば、ある会社の株式に投資をして、  
「〇〇万円もうかった。」  
または、「〇〇万円損をした。」  
この〇〇万円の「ブレ」が生じることを

言っています。  
この損が、  
投資資金の元本を割り込むこともあります。

(※1)

・ [NISA \(少額投資非課税制度\)](#)

金融庁 HP 「NISA とは」

<https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/about/index.html>

・ [iDeCo \(個人型確定拠出年金\)](#)

iDeCo(イデコ)の特徴 (iDeCo 公式サイト)

<https://www.ideco-koushiki.jp/guide/>

---

## 2 つ目 保険商品の基本

---

保険商品は、  
貯蓄と保障を兼ね備えた、  
金融商品でもあります。  
ここでは、主に保障の面を見ていきます。

保険商品には、  
自身や家族が死亡した時や、  
入院した時のための、  
死亡や医療の保険商品が販売されています。

また、他人に損害を与えた時の  
その損害や費用などを補いつぐなうことや  
自身の補償のために、  
火災や自動車といった損害保険商品が、  
販売されています。

万が一の場合に、  
家計や貯蓄から賄えない金額を、  
これらの保険商品に加入して、  
その保険から支出してもらうのが基本です。

自動車を運転中に不幸にして、

他人を死傷させてしまった場合の損害は、  
家計や貯蓄、資産を処分しても、  
到底、支払うことはできません。

その補償を得るために、  
損害賠償保険に加入することは、  
賢明なことなのです。  
なお、ここまでお話している保険商品は、  
民間の保険会社が販売している保険で、  
加入することは任意です。

---

### 死亡・医療保険への一考

---

ところで、私たちは、  
公的年金（国民年金・厚生年金）や  
健康保険に加入しています。

国民年金は、原則 60 歳までの加入ですが、  
60 歳以降も厚生年金に加入する事業所に  
務める場合は、  
勤めている期間中 70 歳までは、  
厚生年金保険料を納付します。

加入の要件を満たすことで、本人が、  
死亡した時には、遺族が遺族年金を、  
障がいの状態になった時には、  
本人が障害年金を受給します。

また、健康保険は生涯保険料を納付します。

ここでは詳しくはお話いたしません、  
たとえば、健康保険では入院した時に、  
「高額療養費」の制度があり、  
前年の収入や所得に応じて、  
病院へ支払う限度額が定められています。

従って、必要以上に、

民間の死亡保険や医療保険に  
加入する必要はないのです。

また、加入している保険商品の保障内容を、  
知らないまま、  
保険料を支払っている方もいます。

極端な例にはなりますが、  
死亡保険に加入しているので、  
何歳になっても、  
遺族に死亡保険金が支払われる  
と想定していても、

70歳「定期」の死亡保険だった場合は、  
71歳で死亡したら、  
保険金もらえないといったケースです。

---

#### 知識が必要

---

ここまでお話してきたことは、  
誰しものが、  
何度となく聞いたことのあることでしょう。

特に「金融商品の基本」については、  
生涯、株式投資をしてみようと思いながら、  
生涯、しないままの方もいます。

決して、それが悪いことではありません。

それより大切なことは、  
やはり、金融商品を運用するには、  
運用する商品の知識が必要だということです。

言い換えれば、  
様々な知識を柔軟に受け入れることのできる  
年代から始めことです。

そして、老後の生活では、  
今まで運用してきた金融商品を、  
いまの運用の知識から、  
いかに家計に負担なく軟着陸させるか、

つまり、自分自身で収益を確定させるのか、  
または、  
次世代の負担なく次世代に継ぐか、  
考えて、行動する準備をしておくことです。

\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*

#### ◆ 今週のポイント

\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*

年齢に合った

お金との付き合い方を考えること

生涯に渡り、

必要なことです！

\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*

#### ◆ 編集後記

\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*.\*

リタイアが決まってから、

老後のライフプランの相談に、

みえる方がいます

現役中は、

仕事が忙しかったようです

\*:\*

◆「人生の添乗員（R）」牧野寿和のプロフィール

\*:\*

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる  
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー  
創業 19 年目  
1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で居住。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。  
業務で世界各地を廻っていた時、日本の方と他国の  
方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。  
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャル  
プランナーの存在を知り、日本でもこの業務の必要性  
を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。  
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。  
これまでに、延べ 1100 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主  
な業務とし、相談者に、安心できる生活が送れるよ  
うに、丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ  
（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士（資  
産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない!  
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、三重県、首都圏や関西にもリモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員 (R) 」は、他人を気にすることなく、相談者ご自身にとって有益な提案を心がけています。

---

◆ 【人生の添乗員 (R) 】からのワンポイントメッセージ

発行：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和  
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

◆登録・解除は、ご自身でお願いいたします。  
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

◆本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまでお願いいたします

E-MAIL : [makino.fp@beach.ocn.ne.jp](mailto:makino.fp@beach.ocn.ne.jp)

---

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：

<https://www.makino-fp.com>

◆記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。

ご自身の責任でご判断下さい。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は、  
牧野寿和の登録商標です

---